



Japanese Association for
Acute Medicine

はじめての 学会参加の手引き

Ver.1

作成年月：2026年10月6日

一般社団法人日本救急医学会 救急科プログラム参加推進委員会 作成

委員長：	萩原 佑亮	東京都立小児総合医療センター
委 員：	川口 剛史 白根 翔悟 宮前 伸啓 原田 尚重	聖マリアンナ医科大学 国立病院機構災害医療センター 洛和会音羽病院 武蔵野赤十字病院
担当理事：	横堀 將司	日本医科大学付属病院

(敬称略)

本手引の一部（要約・構成案）の作成に AI（Chat GPT-5.6）を使用し、編集部が加筆・修正・ファクトチェックを行っています。本手引きの作成にあたり、ご意見をいただきました理事、会員の先生方に心より感謝申し上げます。

はじめに

日本救急医学会では、若手医師に学術集会へ積極的に参加していただき、救急医学に関する知識を深めるとともに、研究、教育、キャリア形成、人との交流につなげていただくことを大切にしております。そこで、救急科プログラム参加推進委員会では、初めて日本救急医学会学術集会に参加される研修医・専攻医の先生方に向けて、本手引きを作成しました。

本手引きでは、参加前の準備から当日の過ごし方、セッションの聴き方や質問の仕方、発表に向けた準備、学会後の振り返りまでをまとめました。聴講を中心に参加される方、発表者として参加される方のいずれにも参考にいただければ幸いです。学術集会への参加をきっかけとして、皆さんが今後も広く、長く救急医学の分野で学び、活躍していただくことを願っております。

なお、本手引きの内容についてご意見やご要望がありましたら、日本救急医学会事務局までお寄せください。

2026 年 10 月吉日 日本救急医学会 救急科プログラム参加推進委員会

目次

0. はじめて学術集会に参加する方へ	4
1. 準備	5
2. いざ、学会へ！	8
3. セッションを楽しもう	10
4. 学会後にすること	13
おわりに	15
付録	16

00. はじめて学術集会に参加する方へ

初めて学術集会に参加するときは、緊張したり、「どのセッションに行けばよいのだろう」「どのように過ごせばよいのだろう」と迷ったりすることもあると思います。まずは、自分の興味のあるテーマを探るところから始めてみてください。

日本救急医学会学術集会では、臨床、研究、教育という3つの大きな柱を軸に、災害医療、病院前診療、集中治療、外傷、地域医療など、幅広いテーマが取り上げられます。気になるキーワードを3つほど決めてプログラムを眺めてみると、自分に合ったセッションを選びやすくなります。

学会には、研修医・専攻医を含め、さまざまな立場の医師が参加します。研修医・専攻医にとっても、救急医としての視野を広げ、他施設の診療、教育、研究、働き方を知るよい機会です。将来取り組みたい分野や、自分が目指したいロールモデルに出会うこともあります。

参加の仕方は人それぞれです。発表を聞く、質問をする、自分が発表する。そのいずれも学びにつながります。「聞くだけ」の参加でも構いません。また、その開催される土地に赴き、忙しい日常を少し離れて、その土地のおいしいものを食べたり、ちょっと足を延ばしたりすることも次への活力につながると思います。

初めて参加する際は、「一つ学ぶ」「人と話す」「次の行動を決める」くらいを目安にしてみてください。自分の関心や将来像を広げる機会として、学術集会を活用していただければと思います。

01. 準備

学会を楽しむためには、事前の準備が大切です。参加登録や交通・宿泊の手配に加えて、プログラムには必ず目を通しておきましょう。発表を予定している方は、発表時間や会場、データ受付の方法なども早めに確認しておくとう安心です。

1-1. まず確認すること

学術集会への参加を決めたら、まず次の項目を確認しましょう。

- » **開催日・会場**
- » **参加登録の方法と期限**
- » **参加費**
- » **宿泊・交通手段**
- » **プログラム・抄録集・学会アプリ**
- » **ランチョンセミナーやハンズオン企画などの事前申込**
- » **所属施設への出張申請**
- » **専門医制度などに関する単位の取得方法**

参加費は、会員・非会員や登録時期によって異なる場合があります。早めに学術集会の公式サイトを確認しておきましょう。

発表を予定している方は、演題番号、発表日時、会場、発表形式、発表データの受付方法も確認しておきます。

※学会参加にはどのくらいお金がかかる？

学会参加には、参加費のほか、交通費、宿泊費、食費、懇親会費などががかかります。開催地や参加日数によって費用は変わるため、参加を決めたら早めに見積もってみましょう。

宿泊施設は開催日が近づくとう予約が取りにくくなったり、料金が高くなったりすることがあります。参加予定が決まったら、早めの手配がおすすめです。

所属施設によっては、出張費、研修費、研究費などから補助を受けられる場合があります。発指導医や所属部署に確認してみましょう。

参加前に確認しておきたいこと

- | | |
|-------------------|-------------------|
| » 参加費はいくらか | » 交通費・宿泊費はいくらくらいか |
| » 事前参加登録の期限はいつか | » 所属施設から補助を受けられるか |
| » 会員・非会員で参加費が異なるか | » 発表者に対する補助制度があるか |

1-2. プログラムの選び方

学術集会では、多くのセッションが同時に開催されます。自分の興味や目的に合わせて、参加したいセッションを選んでみましょう。例えば、次のような選び方があります。

- » 日頃の診療に近いテーマ
- » 将来取り組んでみたいテーマ
- » 普段あまり触れる機会のないテーマ
- » 指導者や同僚の発表
- » 施設として取り組んでいるテーマ
- » 救急医学と直接的な関連のない特別講演
- » 若手向け、教育、キャリアに関する企画

気になるキーワードを3つほど決めてプログラムを検索すると、参加するセッションを選びやすくなります。

聴きたいセッションが重なったときは、「今の自分に一番必要なものはどれか」で選んでみましょう。セッションの合間に、休憩や交流の時間を取るのもよいでしょう。

1-3. 持ち物を確認しよう

学会当日に慌てないように、前日までに持ち物を確認しておきましょう。

- » スマートフォン
- » スマートフォンの充電器・モバイルバッテリー
- » 筆記用具
- » 参加証・ネームカードなど、学術集会から指定されたもの
- » 学会アプリや抄録集
- » e- 医学会カードなど、単位登録に必要なもの
- » 名刺（必要に応じて）

発表を予定している方は、発表データも準備します。USB メモリやクラウドなど、複数の方法でバックアップしておくとう安心です。COI（利益相反）に関するスライドや、学術集会ごとに指定された発表形式についても確認しておきましょう。ネームカードを HP よりダウンロードし、印刷して当日持参することを求める学術集会が増えています。会場受付では印刷できないため、特に忘れないようにしましょう。

1-4. 何を着ていけばよい？

学会からのお知らせを参考にしましょう。

例：2026 年度の第 54 回 日本救急医学会総会・学術集会のお知らせ

服装

本学術集会では、昨今の時代の流れや参加者の皆様の快適さを重視し、スマートカジュアルでのご参加を推奨いたします。スーツやネクタイなどのフォーマルな服装は必須ではありません。学術的な雰囲気を保ちつつ、リラックスした環境でご交流いただければ幸いです。

学会会場では会場間を移動することが多いため、**歩きやすい靴**がおすすめです。また、会場内の空調に備えて、**羽織れるもの**があると便利です。

1-5. 家族との予定・託児サービスを確認しよう

学会参加では、休日や勤務の調整、交通・宿泊に伴う費用など、家庭との調整が必要になることがあります。参加を予定している場合は、開催日程や費用の見込みを早めに共有しておきましょう。

学術集会によっては、託児室や託児サービスが用意されています。**事前申込制**や**定員制**の場合もあるため、対象年齢、利用時間、料金、申込期限などを公式サイトで確認しておく心安心です。

家族と一緒に開催地を訪れたり、学会の前後に家族との予定を組んだりする方法もあります。それぞれの家庭に合った参加方法を考えてみましょう。

02. いざ、学会へ！

学会当日は、会場に着いてから受付や移動など、思った以上に時間がかかることがあります。学会運営を支えて下さっているスタッフに過度の負担をかけないように少し余裕を持って会場に向かいましょう。特に初めて参加する場合は、会場の広さや移動時間がわからないこともあるため、早めの行動がおすすめです。

また、学会会場やその周辺には、学会参加者以外の方が利用する場所もあります。公共の場であることを意識し、社会人として周囲への配慮を心がけましょう。発表者、座長、学会運営スタッフに対しても、節度ある態度で接しましょう。

2-1. 会場に着いたら

会場に到着したら、まず受付を済ませましょう。ネームカードや参加証を受け取り、会場マップでセッション会場の場所を確認します。ネームカードは、事前印刷して持参するように指示されていることもあるので、お知らせをよく確認しましょう。

参加したいセッションの会場は、あらかじめ確認しておくことで移動がスムーズです。人気のあるセッションでは満席になることもあるため、少し早めに移動するとよいでしょう。ランチョンセミナーなど、整理券の配布や事前受付が必要な企画もあります。参加を希望する場合は、受付方法や時間を確認しておきましょう。

2-2. 発表がある場合

発表がある日は、発表時間よりも十分早めに会場へ到着しておきましょう。午後の発表であっても、午前中のうちに受付や発表会場の確認を済ませておくことで安心です。当日は、次の点を確認しておきましょう。

- » **PC 受付を済ませたか**
- » **発表データに COI スライドが入っているか**
- » **発表時間を確認し、時間内に収まるよう練習したか**
- » **発表会場と集合時間を確認したか**
- » **USB メモリやクラウドなどに発表データのバックアップがあるか**
- » **想定される質問について準備したか**

発表前に座長や進行スタッフと顔を合わせる機会があれば、事前に挨拶しておくとう安心です。発表順や質疑応答の進め方などについて案内がある場合は、確認しておきましょう。質疑応答で受けた質問やコメントは、今後の研究や発表を改善するヒントになります。気になった内容は、発表後にメモしておくとういでしょう。

2-3. 1日の目標を決めてみよう

学会では多くのセッションが同時に開催されます。その日の目標をいくつか決めておくと、参加するセッションを選びやすく、学びも振り返りやすくなります。

例えば、

- » 学びを3つ持ち帰る
- » 一つ質問する
- » 一人と話す
- » 次に調べたいテーマを一つ決める

帰る前に、「今日いちばん印象に残ったことは何だったか」を振り返ってみるのもおすすめです。

2-4. 疲れたら休憩しよう

学会では朝から多くのセッションが続き、会場内を歩く時間も長くなります。疲れたら、休憩スペースやラウンジを利用しましょう。昼食や休憩のために会場の外へ出ることもできます。休憩を取りながら、自分のペースで学会を楽しんでください。

03. セッションを楽しもう

3-1. セッションの種類

学術集会では、さまざまな形式のセッションが行われます。それぞれの特徴を知っておくと、プログラムを選ぶ際の参考になります。

教育講演

特定のテーマについて、基本的な知識から最近の知見までを整理して学ぶことができるセッションです。初めて学ぶ分野や、知識を整理したいテーマを選ぶとよいでしょう。

シンポジウム

あるテーマについて複数の演者が発表し、演者同士や会場との討議を通して、そのテーマに対する考え方や方向性をまとめていくセッションです。現在の到達点や今後の方向性を知りたいときに向いています。

パネルディスカッション

複数の演者が発表し、演者同士や会場との討議を行います。シンポジウムに比べ、まだ一定の見解を示すことが難しいテーマが扱われることがあります。さまざまな立場や考え方に触れたいときに向いています。

ワークショップ

将来さらに議論が必要となる課題について、参加者が意見交換を行い、現状や課題を共有する形式です。参加者同士で考えたり話し合ったりする機会があります。

一般演題

研究や症例、診療・教育に関する取り組みなどについて発表し、会場との質疑応答を行うセッションです。研修医・専攻医にとって、自分の関心に近いテーマや、今後の発表の参考となる演題を見つけやすい場でもあります。

ポスターセッション

ポスターを用いて発表し、会場との質疑応答を行う形式です。興味のある演題について、発表者と近い距離で話しやすいことが特徴です。紙のポスターが一定時間掲示される形式では、発表時間以外にも内容を自分のペースでじっくり見ることができます。

特別企画

学術集会が特に力を入れているテーマや、その年ならではの企画が組まれることがあります。プログラムを見たら、特別企画も一度チェックしてみましょう。

ハンズオンセミナー

手技や医療機器などを実際に体験しながら学ぶ企画です。事前申込制や定員制の場合があるため、早めの確認がおすすめです。

ランチョンセミナー

昼食時間帯に開催される企業共催のセミナーです。事前申込や整理券が必要な場合があります。食事が提供されることもあるので、気になるテーマがあればチェックしてみましょう。企業共催の企画であることも踏まえて内容を見てみましょう。

3-2. セッションを聞くときのマナー

発表スライドの**撮影や録音、SNS への投稿**については、**学術集会ごとにルール**が定められています。会場内の案内や公式サイトを確認し、そのルールに従いましょう。

症例に関する発表では、**患者情報や個人情報の取り扱い**にも注意が必要です。SNS などに投稿する際は、個人が特定される情報を含めないよう注意しましょう。

発表中の私語や、頻繁な出入りはできるだけ控えましょう。途中で移動する予定がある場合は、出入口に近い席を選ぶとスムーズです。

3-3. 質問してみよう

発表を聞いて疑問に思ったことがあれば、質問してみましょう。質問は、発表内容への理解を深める機会になります。

質問するときは、最初に所属と名前と感謝の意（「大変貴重なご発表ありがとうございました」「とても勉強になりました」など）を簡潔に述べ、その後に質問を続けるとスムーズです。

基本形：

（所属）の（名前）と申します。ご発表ありがとうございました。
〇〇について教えてください。

質問例：

- ・ 「対象患者の選択基準について教えてください」
- ・ 「この取り組みを始める際に、最も難しかった点は何ですか」
- ・ 「自施設に導入する場合、最初に取り組むとよいことは何でしょうか」
- ・ 「今後の課題をどのように考えていますか」

質問は、できるだけ一つに絞り、短く伝えると発表者にも聴衆にも分かりやすくなります。長い自己紹介や、自分の意見を述べるだけのコメント、発表者を責めるような言い方は避けましょう。質疑応答の時間は限られています。発表者やほかの参加者にとっても有意義な時間となるよう、簡潔な質問を心がけましょう。

04. 学会後にとすること

学会で得た学びや出会いは、振り返ることで次の行動につながります。帰ってから少し時間をとって、印象に残ったことを整理してみましょう。

4-1. 24 時間以内に振り返る

記憶が新しいうちに、学会で気になったことを簡単にメモしておきましょう。

- » 印象に残った演題を 3 つ書く
- » 自施設で共有したいことを 1 つ選ぶ
- » 名刺交換や交流をした相手に、必要に応じてお礼を伝える
- » 発表者は、質疑応答で受けた質問やコメントを記録する

数分でも振り返っておくと、学会で得た気づきを後から思い出しやすくなります。

4-2. 1 週間以内に次の行動を決める

学会で得た学びを、自分の診療や学習につなげてみましょう。

- » 指導医や同期、所属施設のメンバーと学びを共有する
- » 気になったテーマや文献を調べる
- » 自分の臨床や教育で試してみたいことを 1 つ決める
- » 次に発表してみたいテーマを考える
- » 発表者は、論文化や次の研究について指導医や共同研究者と相談する

学会で生まれた疑問やアイデアの中から、気になるものを一つ選び、次の行動につなげてみましょう。

4-3. 振り返りメモ

学会参加後の記録として、次の項目を残しておく、次回の参加にも役立ちます。

- » 参加したセッション
- » 一番印象に残ったこと
- » 明日から実践したいこと
- » さらに調べたいこと
- » 話してみたい、または連絡したい人
- » 次回の目標

4-4. 学会後のお土産：感謝と学びを持ち帰る

学会参加には、勤務を調整してくれた同僚や上司、家庭を支えてくれた家族など、多くの人の協力があります。参加後には、学会で得た学びを周囲に共有してみましょう。

お菓子などのお土産もよいですが、学会で得た知識や気づきを職場に還元することも大切です。5分程度の短い共有でも、学びを職場に還元するきっかけになります。

例えば、

学会で〇〇に関する発表を聞きました。自施設でも△△の場面で応用できそうです。
短く共有します。

といった形で、印象に残った内容を伝えてみましょう。

おわりに

学術集会への参加は、日々の診療や学びを振り返り、新しい知識に触れ、人と出会う機会です。本手引きが、初めて学術集会に参加する皆さんの不安を和らげ、学会への第一歩を踏み出す助けとなれば幸いです。

学会で得た学びや出会いを、今後の診療、研究、教育、キャリア形成につなげていただければと思います。

付録 救急に関連する学会

国内の主な関連学会

学会名	主な領域	リンク
日本救急医学会	救急医学全般、ER、集中治療、外傷、災害	公式サイト
日本救急医学会 地方会	北海道、東北、関東、中部、近畿、中国四国、九州	公式サイト
日本臨床救急医学会	多職種連携、救急外来、救急隊、救急看護	公式サイト
日本集中治療医学会	ICU、重症患者管理、呼吸循環管理、臓器不全	公式サイト
日本外傷学会	外傷診療、外傷外科	公式サイト
日本中毒学会	急性中毒、薬毒物、解毒薬、中毒診療	公式サイト
日本熱傷学会	熱傷診療、創傷管理、熱傷集中治療	公式サイト
日本腹部救急医学会	急性腹症、腹部外傷、緊急手術	公式サイト
日本災害医学会	災害医療、DMAT、マスギャザリング、医療体制	公式サイト
日本小児救急医学会	小児救急、小児重症疾患、小児救急体制	公式サイト
日本神経救急学会	神経救急、脳卒中、意識障害、けいれん・てんかん	公式サイト
日本航空医療学会	ドクターヘリ、航空医療、搬送医学	公式サイト
日本 Acute Care Surgery 学会	外傷外科、救急外科、急性期外科診療	公式サイト

海外の主な救急・集中治療関連学会

国内学会での発表経験をきっかけに、海外学会での発表を次の目標としてみるのもよいでしょう。アジア圏の学会など、比較的参加しやすい国際学会から挑戦する方法もあります。

学会・団体名	国・地域	リンク
International Conference on Emergency Medicine (ICEM)	国際	公式サイト
Asian Conference on Emergency Medicine (ACEM)	アジア	公式サイト
American College of Emergency Physicians (ACEP)	米国	公式サイト
Society for Academic Emergency Medicine (SAEM)	米国	公式サイト
European Society for Emergency Medicine (EUSEM)	欧州	公式サイト
Australasian College for Emergency Medicine (ACEM)	豪州・NZ	公式サイト
Society of Critical Care Medicine (SCCM)	米国	公式サイト
European Society of Intensive Care Medicine (ESICM)	欧州	公式サイト